

平成22年3月期 第3四半期決算概要説明資料

- | | |
|------------------------------|--------|
| 1. 連結損益計算書 | … 1ページ |
| 2. 連結貸借対照表 | … 2ページ |
| 3. 事業セグメント別業績推移（連結） | … 3ページ |
| 4. 平成22年3月期通期業績予想修正理由 | … 4ページ |
| 5. 平成22年3月期の重点施策の状況 | … 5ページ |

平成22年2月1日

 **日立電線株式会社**

お問合せ先 人事総務本部総務部 広報グループ
TEL 03-6381-1050
FAX 03-5256-3240

1. 連結損益計算書

[単位:億円(億円未満四捨五入)]

	平成21年3月期 第3四半期累計期間 (平20.4.1~平20.12.31) (A)	平成22年3月期 第3四半期累計期間 (平21.4.1~平21.12.31) (B)	平成22年3月期 通期予想 (平21.4.1~平22.3.31)	増減 (B)-(A)
売上高	4,025	2,675	3,750	△1,350
営業利益	△70	△66	△45	+5
営業外収益	22	34	15	
営業外費用	△42	△16		
経常利益	△90	△48	△30	+42
特別利益	1	1	△40	
特別損失	△44	△7		
税金等調整前当期純利益	△133	△55	△70	+78
法人税等・少数株主利益	△177	△8	△10	
当期純利益	△310	△63	△80	+247

①売上高増減要因について

・銅価変動の影響	△327
・連結範囲の変更による増減	+6
・為替による影響	△87
・純増減他	△942
合計	△1,350

②営業利益増減要因について

・売上純増減による利益増減	△260
・連結範囲の変更による増減	△4
・為替による影響	△13
・固定費減少	+145
・銅価変動によるたな卸資産評価損益	+94
・その他	+43
合計	+5

③経常利益増減要因について

・営業利益の増減要因	+5
・持分法投資利益の増加	+29
・その他	+8
合計	+42

2. 連結貸借対照表

[単位: 億円(億円未満四捨五入)]

	平成21年3月期末 (平21.3.31現在)	平成22年3月期 第3四半期末 (平21.12.31現在)	増 減
流動資産	1,307	1,492	+186
固定資産	1,483	1,464	△18
有形固定資産	1,109	1,042	△67
無形固定資産	108	106	△2
投資その他資産	266	316	+51
資産合計	2,790	2,957	+167
流動負債	954	1,185	+231
固定負債	507	521	+14
負債合計	1,461	1,706	+245
純資産合計	1,329	1,251	△78
負債、純資産合計	2,790	2,957	+167

【主な増減要因】

① 流動資産

[単位: 億円(億円未満四捨五入)]

	平成21年3月期末	平成22年3月期 第3四半期末	増 減
受取手形及び売掛金	704	804	+100
たな卸資産	389	515	+126

② 負債

[単位: 億円(億円未満四捨五入)]

	平成21年3月期末	平成22年3月期 第3四半期末	増 減
支払手形及び買掛金	426	552	+126
有利子負債	439	605	+166

3. 事業セグメント別業績推移(連結)

銅価前提:700千円/トン
為替前提:90円/\$

銅価前提:500千円/トン
為替前提:90円/\$

(1)事業の種類セグメント別売上高(外部顧客に対する売上高)

[単位:億円(億円未満四捨五入)]

	平成20年3月期								平成21年3月期								平成22年3月期								平成22年3月期		
	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	上期 累計	下期 累計	3Q 累計	年度 累計	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	上期 累計	下期 累計	3Q 累計	年度 累計	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月) 【予想】	上期 累計	下期 累計 【予想】	3Q 累計	年度 累計 【予想】	上期 累計	下期 累計 【前回予想】	年度 累計 【前回予想】
産業用・電力用ケーブル	342	364	377	364	707	740	1,083	1,447	339	364	311	252	703	560	1,014	1,263	218	221	252	255	439	507	691	946	439	511	950
機器用電線・配線部品	116	111	119	113	227	232	346	459	104	116	99	64	220	164	319	384	67	71	75	85	138	160	214	299	138	172	310
巻線	223	244	231	247	467	478	698	945	225	234	198	127	459	327	657	786	95	119	133	155	214	288	347	502	214	296	510
電線・ケーブル事業	682	719	727	723	1,400	1,450	2,127	2,851	668	714	608	443	1,382	1,051	1,990	2,433	380	411	461	495	791	956	1,252	1,747	791	979	1,770
情報ネットワーク	54	82	79	92	136	171	215	307	74	75	61	77	149	138	210	287	41	55	52	85	96	137	148	233	96	149	245
ワイヤレスシステム	44	57	61	76	101	136	162	237	47	52	58	61	99	119	158	219	36	52	55	55	88	110	143	198	88	127	215
光・通信ケーブル	40	47	42	40	86	82	128	169	41	40	42	32	81	74	123	155	32	31	28	35	62	63	91	126	62	68	130
光海底ケーブル	21	25	26	24	46	50	73	96	29	25	29	22	54	51	83	105	28	25	4	0	53	4	57	57	53	17	70
情報通信ネットワーク事業	159	210	208	232	369	440	577	809	191	193	190	192	384	382	574	766	138	162	140	175	300	315	440	614	300	360	660
化合物半導体	35	36	37	36	71	73	108	144	36	36	32	15	72	47	103	119	18	27	28	30	45	58	73	102	45	65	110
TAB	58	69	58	46	128	103	185	231	59	83	49	45	141	94	190	235	55	58	53	55	113	108	165	220	113	117	230
リードフレーム	68	81	70	78	149	148	219	297	63	67	45	27	129	72	174	201	22	34	47	50	56	97	103	153	56	74	130
自動車用部品	85	89	83	96	174	179	256	353	103	112	99	74	215	172	313	386	66	78	89	95	144	184	233	328	144	186	330
銅管	79	71	55	64	150	119	205	268	72	60	58	44	132	102	190	234	41	32	30	35	74	65	104	139	74	71	145
銅条	89	105	120	101	194	221	314	415	105	102	70	25	208	96	278	304	44	61	74	80	105	154	179	259	105	145	250
電気用伸銅品他	61	63	73	60	125	133	198	258	66	65	57	34	130	92	188	222	31	35	45	55	66	100	111	166	66	89	155
高機能材料事業	476	514	495	480	990	976	1,485	1,966	503	525	409	264	1,028	673	1,437	1,701	277	325	365	400	602	765	967	1,367	602	748	1,350
物流・サービス他	8	7	9	10	15	20	24	34	7	10	8	7	17	15	24	32	5	5	7	5	10	12	17	22	10	10	20
その他事業	8	7	9	10	15	20	24	34	7	10	8	7	17	15	24	32	5	5	7	5	10	12	17	22	10	10	20
計	1,324	1,450	1,439	1,446	2,775	2,885	4,214	5,660	1,370	1,441	1,215	906	2,810	2,121	4,025	4,932	799	904	973	1,075	1,703	2,048	2,675	3,750	1,703	2,097	3,800

(2)事業の種類セグメント別営業利益

[単位:億円(億円未満四捨五入)]

	平成20年3月期								平成21年3月期								平成22年3月期								平成22年3月期		
	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	上期 累計	下期 累計	3Q 累計	年度 累計	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月)	上期 累計	下期 累計	3Q 累計	年度 累計	第1四半期 (4~6月)	第2四半期 (7~9月)	第3四半期 (10~12月)	第4四半期 (1~3月) 【予想】	上期 累計	下期 累計 【予想】	3Q 累計	年度 累計 【予想】	上期 累計	下期 累計 【前回予想】	年度 累計 【前回予想】
電線・ケーブル事業	25	30	31	28	55	59	85	113	19	17	△ 31	△ 26	36	△ 56	5	△ 21	△ 11	△ 5	7	15	△ 16	22	△ 10	5	△ 16	32	16
情報通信ネットワーク事業	3	21	21	24	25	45	46	70	16	11	6	5	27	11	34	39	0	6	△ 3	13	6	10	3	16	6	25	31
高機能材料事業	8	19	6	8	28	14	34	42	△ 7	△ 25	△ 83	△ 57	△ 32	△ 141	△ 116	△ 173	△ 28	△ 18	△ 18	△ 9	△ 45	△ 27	△ 64	△ 73	△ 45	2	△ 43
その他事業	1	1	2	2	2	4	4	7	1	2	3	1	3	4	6	7	1	1	2	1	3	3	5	7	3	3	6
連結全社合計	38	71	60	62	109	122	170	231	29	5	△ 105	△ 77	34	△ 182	△ 70	△ 147	△ 37	△ 16	△ 12	20	△ 53	8	△ 66	△ 45	△ 53	63	10

- * 単位未満を四捨五入しているため、個々の項目の合算と合計が合わない箇所があります。
- * 四半期(3ヶ月)の数値は、当該四半期累計期間の数値から直前四半期累計期間の数値を差し引いて算出しております。
- * 「前回予想」は、平成21年10月28日の「平成22年3月期 第2四半期決算短信」発表時に公表した数値を記載しております。

4. 平成22年3月期通期業績予想 修正理由

[単位:億円(億円未満四捨五入)]

	平成22年3月期 【前回予想】 (10月28日発表) (A)		平成22年3月期 【今回予想】 (2月1日発表) (B)		増減 (B)-(A)
	下期累計	通期	下期累計	通期	
売上高	2,097	3,800	2,047	3,750	△50
営業利益	63	10	8	△45	△55
経常利益	48	10	8	△30	△40
特別損益	△24	△30	△34	△40	△10
税金等調整前当期純利益	24	△20	△26	△70	△50
当期純利益	14	△30	△36	△80	△50

①売上高 修正要因(下期分)

・銅価上昇の影響(建値下期前提:500千円/t⇒650千円/t)	+130
・純減他	△180
合計	△50

②営業利益 修正要因(下期分)

・売上純減による利益減	△54
・その他	△1
合計	△55

③経常利益 修正要因(下期分)

・営業利益の修正要因	△55
・持分法投資利益	+7
・その他	+8
合計	△40

5. 平成22年3月期の重点施策の状況

(1)現在進行中の事業構造改革

事業分野	実施項目
機器用電線事業	・海外生産拠点 4社削減(うち3社決定) ハンガリー子会社清算(H21/2)、中国子会社売却(H21/7)、 米国関連会社売却(H22/1) ・ヒタチケーブル・ベトナム社操業準備再スタート(H22 開業目標、アジアの量産拠点化)
TAB事業	・COFの再構築 日立電線フィルムデバイス(株)への生産拠点集約完了(H22/2予定) ・メモリー用TAB新製品の拡充
リードフレーム事業	・生産拠点の再編 (国内:金型拠点集約完了、海外:製造拠点の再編検討) ・高付加価値製品への注力 (パワーデバイス半導体モジュール用、ミニトランジスタ用、LED用)
自動車用部品事業	・ホース部品はフロリダ・メキシコの2社で注力 メキシコは新建屋での増床・設備増強完了、量産開始 ・ヒタチケーブル・インディアナ社はHV用電源ハーネスに集中
銅条事業	・半導体用銅条、銅箔への注力
国内外販売会社	・日立電線商事(株)と藤長電気(株)合併により、東日本1社、西日本1社の体制確立 ・韓国拠点の閉鎖

(注)太字は、第2四半期決算発表後に決定したものの。

(2)今後の注力事業の進捗状況(主なニュースリリース案件)

①新エネルギー・環境関連事業、産業インフラ事業の強化・拡大

分野	実施項目
新エネルギー・環境	・ハイブリット自動車用ノンハロゲン150°C耐熱電源ハーネスを開発(H21/4) ・ITER向け超伝導ケーブル用製造設備を新規導入(H21/8) ・ 次世代リチウムイオン二次電池用の高強度・高耐熱圧延銅箔を開発(H22/1) ・ 55ルーメンの高出力赤色LEDチップを開発(H22/1)
インフラ	・サウジアラビアに合弁で電力海底ケーブルの製造販売会社を設立(H21/4) 【(株)ジェイ・パワーシステムズ】 ・ 欧州標準規格対応鉄道車両用ノンハロゲン電線を開発(H21/12)

②情報通信インフラ事業の拡大

分野	実施項目
情報ネットワーク	・APRESIAがデータセンタ向けバックボーンスイッチとしてベトナムで初採用(H21/4) ・APRESIAがタイのイーサネットサービスを先導するシンフォニー社で本格採用(H21/9) ・ 世界初40ギガビットイーサネット用メディアコンバータの開発・販売(H22/1)
ワイヤレスシステム	・東京スカイツリーの放送用送信アンテナシステムを受注(H21/11)

(注)太字は、第2四半期決算発表後にニュースリリースしたものの。

イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。APRESIAは、日立電線株式会社の登録商標です。